

発言通告一覧表

月日	発言 順番	発言者	発言件名
12月3日(月曜日)	1	近藤吉一郎	1. 行財政改革について 2. 公共施設の充実について 3. 観光行政について
	2	岡田 康弘	1. 教育行政について
	3	森西 順次	1. 土地開発公社解散プランについて
	4	黒見 節子	1. 子育て支援 2. 教育振興基本計画
	5	松本 義隆	1. 学区の変更について 2. 危機管理について
12月4日(火曜日)	1	津本 辰己	1. 農政について 2. 教育委員会について
	2	小椋 多	1. 産業振興施策について 2. 教育行政について 3. 指定管理者制度について
	3	竹内 靖人	1. 成長戦略への取り組みと行財政改革の推進について
	4	原 行則	1. 保健・財政 2. 農林・自然保護
	5	末永 弘之	1. 開発公社整理と財政問題 2. 市税と市場のあり方について 3. 新クリーンセンター課題について
12月5日(水曜日)	1	久永 良一	1. 地域経済の再生 2. 学校改革について 3. TPP 反対を
	2	中島 完一	1. ごみの減量化について 2. 防災計画について 3. 前議会以降の動向について
	3	木下 健二	1. 財政問題 2. 福祉問題 3. 産業問題
	4	川端恵美子	1. 防災・減災行政について 2. 明るい地域社会づくりについて 3. 今後の財政見通しと市民サービスについて
	5	秋久 憲司	1. 財政運営について 2. 東北被災地復興支援について
12月6日(木曜日)	1	村田 隆男	1. 地方税と国税 2. 地域振興計画
	2	野村 昌平	1. まちづくり・地域づくりに関して 2. 下水道行政について
	3	河本 英敏	1. ゴミ行政に関わって 2. 中心市街地活性化事業(素案)について 3. 自然エネルギー利用を
	4	安東 伸昭	1. 公の施設の管理・運営について 2. 小・中学校の学習環境について
12月7日(金曜日)	1	田口慎一郎	1. 森林ほか土地所有者不明化について 2. 幼児教育と小1プロブレム
	2	津本 憲一	1. 津山市人口減に誘致企業による歯止めを 2. 津山城跡・石垣を世界遺産に 3. 空家対策に山車倉庫展示館を中心市街地活性化基本計画に
	3	森岡 和雄	1. 太陽光発電など自然再生エネルギー政策のその後について 2. 和牛振興について 3. 観光行政について
	4	山田 誠	1. 新クリーンセンター建設及び関連施設について 2. 長期財政計画の策定について

開発公社の整理は政治家の市税納入率は100%でない

★日本共産党津山市議団 末永弘之



**質問** ↓土地開発公社の債務整理148億円は、やむを得ない措置とはいえず、全額を市民が負担する。そして、62億円を「放棄」するのはなぜか。  
**答弁** ↓解散プランは負債を整理し、公社

を解散させるスキーム。土地の買戻し経費や三セク債償還金は公金であり、実質負担抑制が重要。債権放棄は三セク債の制度上、予定されている行為である。

**質問** ↓全額を市民が「税金で整理する」というのは納得がいかない。

**質問** ↓市長にお聞きするが、津山市の政治家の市税納入率が100%になっているのかいないのか。

**答弁** ↓この種の問題が議場では非常に出るのではありませんか、100%かと言われるなら、100%ではないと言わざるを得ない。

いじめ、暴力、不登校が激減、学力が飛躍的に向上した!

★日本共産党津山市議団 久永良一



**質問** ↓「学びの共同体」は授業を中核とした学校改革論である。問題が起きている学校では、「授業を変えるくらいで学校が変わるのか」と疑問を抱く方もいる。その疑問に対しては「変わる」と断言する。教師がまず

低学力層の子どもたちを見捨てることなく、ともに学び合うことに尽力する。これが教育の原点。他者と協同する中で、教師と子ども、子どもと子どもとの人間関係をよくする。学びの共同体が成立した学校では、いじめ、暴力、不登校が激減し、学力が飛躍的に向上している。津山の全校で「学びの共同体」による学校改革に取り組むべきだ。

**答弁** ↓「学びの共同体」の理論は、学力、生活指導にとっても、有効な方法であると思う。学校の主体的な取り組みを支援していく。